

WEEKLY BULLETIN

OSAKA
NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

2025-2026年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッツォ
会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」
(第2660地区ガバナー 吉川 健之)

来年4月からは大学で研究員として働きながら、中国語の非常勤講師として教壇に立つ予定です。これまで学んだ日本語教育の経験を生かし、中国語と文化の魅力を伝えていきたいです。
日本で学んだのは「違いを理解することで世界が広がる」ということ。そして、人と人の間に小さな理解の橋をかける努力を忘れないことです。本日はご清聴ありがとうございました。

質問① (宮本会員) :

Q: 吉林省はとても寒いとのことでしたが、温暖化の影響は感じますか? また最近も帰省されていますか?

A: はい。昨年2月に5年ぶりに冬の吉林へ帰省しました。子どもの頃より少し暖かくなったように感じます。日本の服のままで十分過ごせました。母は毎年「今年も寒いね」と言いますが、20年前と比べると確かに穏やかになっていると思います。

質問② (岡本会員) :

Q: 近年の中国の若者のファッション傾向はどうですか? どんなブランドが人気ですか?

A: 最近はスポーツブランドがとても流行っています。たとえば「lululemon (ルルレモン)」や、日本の「モンベル」も人気です。若い人たちは通勤でもスポーティな服を着るようになりました。中国版TikTokの「抖音 (ドウイン)」などSNSでもそうした投稿をよく見ます。

質問③ (樽井会員) :

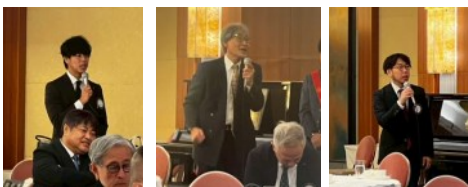
Q: 日本語で「遠回しな表現が多い」とおっしゃっていましたが、他に分かりづらかった表現はありますか?

A: 最初は「また今度」「検討します」などの表現が難しかったです。中国語では断るときははっきり言いますが、日本ではやわらかく伝える文化があります。最近は私も「ちょっと…」という便利な言い方をよく使うようになりました(笑)。

質問④ (河内会員) :

Q: 中国語の「チャーブドウ (差不多)」のように、日本語で「便利だな」という言葉はありますか?

A: そうですね。「ちょっと」や「まあまあ」という言葉は本当に便利です。直接言わずに気持ちいを伝えられる。日本語のこうした“余白のある言葉”が今は大好きです。



11月 会員誕生日 おめでとうございます

11月9日 松田禎胤会員

11月25日 松浦孝尚会員

これからの予定

- 11月 9日 (日) 地区補助金を利用した奉仕活動&社会奉仕委員会クラブフォーラム 於:飛鳥学院
- 11月13日 (木) 例会
- 11月15日 (土) 16日 (日) 社会奉仕・青少年奉仕活動 (みなみフェス)
- 11月20日 (木) 例会・ロータリーを知りましょう会
- 11月23日 (日) ~26日 (水) 人道的国際奉仕活動フィリピンセブ島訪問
- 11月27日 (木) 例会
- 11月29日 (土) 地区大会
- 12月 4日 (木) 例会・年次総会・定例理事会

今日の卓話

11月6日 (木)

テーマ 「自己紹介と
ロータリーよもやま話」
卓話者 福田 忠 会員

次回の卓話

11月13日 (木)

テーマ 「私の仕事」
卓話者 鉄崎 薫 会員

ロータリー4つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第16回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘) 通算第2292回例会

- ・国 歌 「君が代」
- ・ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ・歌 岡本優香さん
- ・ピアノ 倉田葉名さん
- 高山理帆さん (交替制)
- ・来客紹介 友好委員

会 食

- ・会長報告 立花英司会長
- ・幹事報告 清水一人幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 S A A
- ・卓話

♪ 奉 仕 の 理 想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

ニコニコ箱報告

前 回 の 合 計	¥ 1 3 0, 0 0 0
本日まで累計	¥ 1, 7 7 4, 0 0 0 (103%達成)
10月末の予算額	¥ 1, 7 2 0, 0 0 0

出 席 報 告

前回	10月23日	3週前	10月2日
会 員 総 数	8 0 名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率75.32%	
出 席 会 員 数	5 6 名		
出 席 率	7 5 %		

大阪難波ロータリークラブ

創立 1976年8月5日

会長: 立花英司 幹事: 清水一人

事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957

例会日時 毎週木曜日 12:30

例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間

会報・雑誌委員長: 大塚哲平 事務局: 安部亜希子

事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60

スイスホテル南海大阪5階
e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

1 1 月は「ロータリー財団月間」です

前回の記録 第 1 5 回 1 0 月 2 3 日 (木)

★来客紹介：服部友好委員

ゲストスピーカー

米山奨学生 菅 新寧さん



★会長報告：立花会長

1. 先週の新入会員歓迎会にご参加していただきました皆さんありがとう御座いました。新入会員の皆様、お疲れ様でした。改めてこれから宜しくお願い致します。
2. 先週日曜日は、END POLIO NOW 秋のチャリティー盆踊りにご参加していただきました皆様、お疲れ様でした。また提灯やTシャツ、募金に協賛して頂きました皆様ありがとう御座いました。
3. 本日は米山奨学生の菅新寧さんの卓話と言う事で新しい会員の方も多くいらっしゃいますので少し米山奨学生についてお話させて頂きたいと思います。
米山奨学事業の始まりは 1952年日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始まり1967年財団法人のロータリー米山記念奨学会が設立されました。50年以上の歴史を持つ日本独自の国際奨学事業です。国外から全国で年間約800名の奨学生を受け入れ、日本のロータリークラブ約2300あるロータリークラブの中から1つの世話クラブとして大阪難波ロータリーも受け入れをしていると言う事になります。そしてクラブの中から1人カウンセラーを選び月に1回例会に出席してもらい奨学生の経済的な支援にとどまらず個人的なケアにあたり異文化の理解や地域交流やボランティア活動に意欲がある優秀な留学生を支援し、将来的に日本と母国の架け橋となり国際社会で活躍する人材を育てる事を目的としております。因みに菅新寧さんのカウンセラーは吉田啓介さんで大阪難波ロータリーは創立以来、菅さんを含めて15名の奨学生を受け入れしております。
今、話させていただいた事はほとんどの方はよくご存じと思いますが、新しい会員の方は豆知識として今日の卓話を聞いて頂けたら幸いです。

★幹事報告：清水幹事

1. 1 1 月 6 日例会終了後、定例理事会を開催させ

て頂きますので、理事役員の方はご出席ください。

2. 公式LINEに入れていただく場合、報告事項だけをお願いいたします。また、くれぐれも返信不要をお願いします。
3. 1 0 月末でクールビズが終了しますので、来月からはねネクタイ着用をお願いします。

★委員会報告

◇青少年奉仕委員会：河内委員長

11月15日、16日みなみフェスにて、社会奉仕委員会及び青少年奉仕委員会の奉仕活動を行います。ご参加よろしくお祈いします。

◇国際奉仕委員会：米澤委員長

10月29日韓国のナザレ園へ訪問を予定しております。皆様からお気持ちの寄付をお願いします。

◇友好委員会：赤坂委員長

11月5日友好ゴルフコンペを予定しております。ご参加の方はよろしくお祈いします。

★ニコニコ箱報告：松井副SAA

立花英司：新入会員歓迎会に沢山のご参加ありがとうございました。赤坂友好委員長、お疲れ様でした。

清水一人：新入会員歓迎会お疲れ様でした。

伴井敬司：家内誕生日にはお花ありがとうございました。

松浦孝尚：新入会員歓迎会、立花会長、清水幹事、赤坂友好委員長、お疲れ様でした。

久保幸一：新入会員歓迎会、ありがとうございました。赤坂委員長、友好委員の皆様ありがとうございました。

森田 納：新入会員歓迎会、赤坂委員長、お疲れ様でした。

赤坂 宏：先週歓迎会多数のご参加ありがとうございました。

鉄崎 薫：10月16日の新入会員歓迎会ご苦勞様でした。

中井政嗣：結婚記念日、感謝。

宮本倫明：例会欠席お詫び。

川井宗次：新入会員歓迎会では赤坂友好委員長、友好委員の皆さま大変お世話になりました。

藤原秀之：例会欠席お詫び。

吉田 智：長期欠席お詫び。卓話をこころよく受けていただきありがとうございます。

川浦文彦：先日は新入会員歓迎会、お疲れ様でした。

松井 潤：2週連続欠席お詫び。

上江ひとみ：お世話になっております。連続欠席お詫び。

延生隆廣：例会欠席お詫び。

服部好恵：新入会員歓迎会、ありがとうございました。とても楽しかったです。

人見和浩：新入会員歓迎会、ありがとうございました。これからもよろしくお祈いいたします。

横井 彦：先週の新入会員歓迎会ありがとうございました！！

★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

累計¥1 0 9, 0 0 0

★卓話 テーマ 米山月間卓話

「自己紹介と日本での出会いと気づき」

卓話者 米山奨学生 菅新寧さん

卓話担当者 上江ひとみ委員長

本日は、自己紹介と、日本での生活の中で感じた文化の違い、そして異文化の中での発見と成長についてお話しさせていただきます。私は中国・吉林省の長春で生まれました。冬はマイナス20度を超える寒さで、空気が澄み、雪が太陽の光に反射してキラキラと輝く美しい街です。氷と雪のテーマパークやスキー場も有名で、幼い頃は家族と氷上祭りへ出かけたり、春には山菜を摘んだりして自然の中で育ちました。その自然と共に生きる感覚が、今の私の原点でもあります。
高校時代に日本の映画や文学に出会い、2016年に初めて日本を訪れました。その後、本格的に留学を決意し、大学では人間科学を学びながら日中の文化交流に関心を持つようになりました。現在は大阪公立大学大学院文学研究科で、映画を通して社会と文化の関係を研究しています。映画は時代の価値観や他者を見る眼差しを映す“窓”だと思っています。
日本に来た当初は、言葉も文化もわからず戸惑いの連続でしたが、その中で多くの優しさに触れました。特に印象に残っているのが「ありがとう」と「すみません」という言葉です。日本ではこの二つを本当に頻繁に使います。中国で

は、親しい間柄ではあまり言葉にしません。言わなくても気持ちは通じるという文化です。でも、日本では感謝を言葉にすることで優しさを伝えることを学び、今では母にも自然に「ありがとう」と言うようになり、「日本人みたいだね」と笑われました。
もう一つは食文化の違いです。中国では料理をみんなで分け合うのが基本で、賑やかに食卓を囲みます。一方、日本では一人ずつ配膳され、最初は少し寂しく感じましたが、やがて「自分の時間を大切に味わう」静かな食事の美しさを知りました。食の形は違っても、どちらも人との距離を大切にする文化だと思います。
また、日本語の「遠回しな表現」には最初苦労しました。「ちょっと難しいかもしれません」と言われて、「少し頑張ればできる」と思ったら、実は「できません」という意味だったりします。中国では「できません」と率直に言う方が誠実とされます。しかし、今では日本の柔らかな言葉の中にも、思いやりがあることを感じ取れるようになりました。
異文化の中で生きるうちに、人との出会いが自分を成長させると実感しました。私は大学で学友会に所属し、文化交流イベントを企画しています。月餅や餃子づくり、中国の民族衣装の展示、バドミントン大会などを通して、日本人学生や留学生が国を超えて交流できる場を作っています。去年は年末に「元旦パーティー」を開催し、約200人が参加しました。私はその際に司会を担当し、多くの人と直接交流できたことがとても印象に残っています。今年12月24日に堺市のフィニーチェ堺ショーホールで文化交流イベントを開催予定です。現在、学友会で準備を進めており、さらに多くの人々が国を越えてつながる場にしたいと考えています。また、去年は大阪と上海の友好都市提携50周年を記念した写真展「新風景」が近鉄で開催されました。学友会はその中でファッションショーを担当し、中国人留学生がチャイナドレスや着物を着て舞台を歩きました。私はチャイナドレス姿でモデルとして出演し、ライトを浴びながら日中文化が交わる瞬間に深い感動を覚えました。
こうした経験を支えてくださったのが、米山記念奨学金とのご縁です。ロータリアンの皆様の温かい支援と励ましが、私の学びと成長の大きな力になっています。皆様との出会いの中で、働くこと、人とつながることの意味を考えるようになりました。ロータリーの理念「国際理解と親善」は、私の研究テーマと深くつながっています。

釜山西北RC創立50周年記念式典

- ・ 日時： 2025年10月28日（火） 18:00
- ・ 場所： ホテル農心
- ・ 当クラブ参加者： 27名

立花会長、清水幹事をはじめとする会員とご家族27名が参列。台中西南RCからも8名が駆けつけ、釜山西北RC会員・関係者を含めた総勢約150名が一堂に会し、50周年を心からお祝いいたしました。式典は、釜山西北RC関丙基会長のご挨拶に始まり、来賓の祝辞が述べられた後、釜山西北RCの半世紀にわたる歴史と、地域社会への献身的な奉仕活動の軌跡が詳細に紹介されました。

立花会長は挨拶で、「半世紀にわたる三姉妹の深い友情は、単なる記録ではなく、心を通わせた温かい交流の証であります」と述べられました。この言葉の通り、三姉妹クラブ間の揺るぎない絆のもと、ロータリーの「奉仕の理想」を実践していることを強く感じました。

会場では、多くの旧知の皆様と再会し、釜山と台中の皆様と共に偉業を喜び合いました。互いのクラブを訪問し合った際の心温まる交流の数々を懐かしく語り合う中で、国際交流の素晴らしさを改めて実感いたしました。

2026年4月10日には、大阪難波RC創立50周年記念式典が控えております。林実行委員長のリーダーシップのもと、三姉妹クラブの皆様もお招きし、盛大に開催できるよう準備を進めてまいります。

当クラブが半世紀の歴史を築くことができましたのは、ひとえに諸先輩方と現会員の並々ならぬご尽力、そしてそのご家族のご理解ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

結びに、今回ご参列いただいた会員の皆様とそのご家族、事務局を含む全ての皆様に感謝を申し上げますとともに、三姉妹クラブの永遠の友情と、益々のご発展を心より祈念いたします。

文責：米澤 勉



立花会長のご挨拶



50周年を記念して実施された社会奉仕活動の報告と功労会員への感謝状贈呈



↑式典後の2次会

昼食に、しゃぶしゃぶ&すき焼き&トマト鍋をご用意くださいました。

2日目の昼食
プルコギ

韓国ナザレ園を訪問

2025年10月29日、立花会長、清水幹事、北田元会長、米澤の4名で韓国慶州のナザレ園を訪問いたしました。訪問当日、慶州ではAPEC首脳会議が開催されており、トランプ米大統領と李在明大統領との会談が行われるということあり、訪問への影響が懸念されましたが、無事に園に到着しました。当園は、戦後の混乱を経て異国の地で孤老となった日本人妻の方々を支え続けてきた、国境を超えた愛の場所です。ナザレ園園長の宋美虎様は、1983年に赴任されて以来、43年にわたりご入居者様に住み込みで献身的なお世話をされてきました。現在、ご入居者様は1名になられていますが、その長きにわたるご尽力に改めて深く敬意を表します。

園長様との懇談では、当クラブが1984年に初めて訪問して以来の深い絆について、「私が赴任した翌年に最初に難波RCさんにお世話になり、今回最後にまたお世話になった」「これまで数ある奉仕団体の中で最も印象深く有り難い」という、大変光栄なお言葉をいただきました。立花会長の挨拶に続き、当クラブから以下の慰問品を贈呈いたしました。

- * 寄付金10万円（当クラブ会員一同より）
- * 和菓子（大地元会長寄贈）
- * 日本の歌CD（北田元会長のご提案による、歌とピアノの先生による録音）
- * 花束（釜山西北RCのチョン・ミンホ会員よりご提供）
- * オルゴールと共鳴台（当クラブより）

贈呈式後、園長様のご案内で園内を見学させていただきました。広い敷地と隅々まで清掃された居室からは、ご入居者様が手厚く親切に保護されている様子がよく伝わりました。残念ながらご入居者様（日本人妻の方）は前日に緊急入院されたためお会いできませんでしたが、園長様からは「おばあさんが帰ったら、このCDとオルゴールを必ず聞かせます」という温かいお言葉をいただきました。今回の訪問を通じて、園長様の民族を超えた真の奉仕の心に触れ、私たちも今後の国際奉仕活動への意欲を新たにできる貴重な機会となりました。

文責：米澤 勉



ナザレ園園長の宋美虎様へ、慰問品を手渡しました。